

スポーツマンである前に

バンコク日本人学校（以後 日本人学校）でのこと。私（佐藤）は、サッカー部の担当でした。

日本人学校5年生とタイのナショナルチーム（以後 タイチーム）5年生が試合を行うことになりました。そのタイチームは、かなり強いということを聞いていました。しかも、そのタイチームは次の週、ヨーロッパ遠征が予定されているそうで、日本人学校の子どもたちにとっては、相手が強ければ強いほど、サッカーの技術面で勉強になると思っていました。でも、試合以上に勉強になることがあったのです。

「サワッディーカップ（こんにちは）」
「サワッディーカップ（こんにちは）」

試合会場に入った瞬間でした。タイチームの子どもたちが次々に大きな声であいさつをします。このとき、

（今日の相手は本当に強い。）

と肌で感じました。しかも、動きは機敏、集散が速い、まるで、すでに試合が始まっているかのようでした。

試合結果：0－8

日本人学校の完敗でした。おそらく、試合会場に入った時から勝負は決まっていたのかもしれませんが。

私は、試合内容よりタイチームから学んだことがたくさんあったと思います。相手が『ナショナルチーム』だから、ではありません。やはり、強いチームはサッカーの技術以外にもあいさつ、かけ足で集合、話を目で聴く、整列のはやさなど、ひとつひとつのことがしっかりできているのです。

「サワッディーカップ（さようなら）」
「サワッディーカップ（さようなら）」

帰り際に、タイチーム全員がビシッと整列し、大きな声であいさつしてきました。

今、やるべきことをきちんとできるタイチームの子どもたちに「スポーツマンである前に」を教えられた一日でした。

駒形小ホームページ

喜多方市立駒形小学校検索

または右記の QR コードよりアクセス

